



ちょっとお茶にしませんか

第3話

鉄好人海外行

カラオケと生オケ Let's enjoy KARAOKE and NAMAOKE, Sing a song!

山本誠志

Masashi Yamamoto

日科情報株式会社 (元) 住友金属工業 (株)

「Let's go KARAOKE」と声が掛かりました。よしとほりきる人、バイバイと去っていく人、どうしようかと悩む人、誘われた人の表情は様々です。あなたはどのタイプ?。「カラオケ」はいまや日常生活の一部です。喫茶店でお茶を飲むような感覚です。何の準備もせずに、手軽に楽しめるところがうけているのでしょうか。

「KARAOKE」は「NOUKYOU」「SUKIYAKI」などについて、世界中で通用する言葉です。一つの文化です。海外でもカラオケが増えています。特に東アジアではめざましいものです。

海外でも、カラオケに誘われることがあります。現地の人には、日本人はみんながみんなカラオケが大好きで、もてなしにベストと考えているのでしょうか。しかし、問題があります。現地でセットされた歌しか入っていないのが一般的です。歌える歌がないときには困ります。カラオケでは、モニターに歌詞がでますから、歌詞を覚えていなくても歌うことができます。しかし歌詞が日本語以外ならば、さっぱりです。また、歌詞集も然りです。歌の選択にも困ります。

でも、ものは考えようです。この状態がお互いの意志疎通の場と考えればいいのです。日本人同士でも、外国人の場合であっても。こう考えて、カラオケを敬遠していた人も参加してみませんか。途中で立ち往生しても、まわりの人が助けてくれますよ。むしろ下手な方が盛り上がります。しかし状況によっては、現地の人だけが浮き上がってしまい、外国人は白けること無きにしもあらずです。

「生オケ」って何だろうと、首を傾げられていた方、お待たせしました。「生オケ」とは、なまのバンドをバックに歌うことです。本来はオーケストラですが、ここではギター、

ベース、ドラムなどの小バンドです。ときには、ピアノやギターだけのときもあります。

国際会議などでは、各国の人達とディナーの後、チョット寄ってみませんかと誘われることもあります。団体貸切り状態のときには、国対抗の形で歌わされることもあります。「カラオケは日本の文化。日本のかたからどうぞ」と指名されます。「リクエストは?」とのこちらからの問いに、「スキヤキソング」との声が返ってきます。これならみなさんも歌えるはずですよ。老いも若きも。日本人も外人も。「スキヤキソング」はワールドワイドになっているので、バンドの人も前奏から始めてくれます。また、バンドが知らない曲でも心配無用です。勝手に歌い始めればいいのです。1フレーズも進んだころには、リズムもメロディも即興で付けてくれています。さすがプロです。

日本、韓国、台湾など東アジアの人は気楽に応じます。宴会慣れしているのかも。ロシアの人ははにかみながらも朗々とロシア民謡を。アメリカの人はそれなりに。欧州系の人達は、クラシック音楽を聞く方が得意なのでしょう、まさに唱歌の如く歌います。

カラオケに限らず生オケでも、緊張している人は歌うテンポが速くなり、酔っている人(お酒に酔っている人も、自分の歌に酔っている人も)はテンポが遅くなります。カラオケはテンポが決まっているから歌う人に合わせてくれません。生バンドも然りです。というのは、歌っている人のテンポに合わせていくと、速い人はますます速く、遅い人はますます遅くなっていくそうです。これは、音楽の専門家に確認しました。伴奏者には伴奏者の苦労があるものです。

バンドも、ジャズ、ハワイアン、タンゴ、シャンソン、フェド、お囃子などいろんなタイプがあります。結構こちらが淡々と歌っていても、バンドの影響でそれぞれのムードに聞こえてくるから不思議です。

現地で歌うときの準備としてお勧めすることがあります。その国から入ってきた民謡を調べておくことです。日本には世界中の民謡が入ってきており、唱歌として馴染んでいます。でも、どこの国の歌かという認識はあまりありません。日本を発つ前に調べておくことです。現地で大うけになります。日本語で結構です。現地のみんなも合わせて歌ってくれます。歌詞を間違っても、一番を三回歌っても構いません。発音のはちゃめちゃでも、現地の言葉で歌えば、最高に歓迎されること請け合いです。

Let's enjoy KARAOKE and NAMAOKE, Sing a song!